

子どもの成長や親同士の交流に  
ベビーうんどうかい



▲すべり台の上り下りを親子で楽しみました

11月15日、子育て交流センターで「ベビーうんどうかい」が行われ、9組27人が参加しました。すべり台やマットの上り下り、ハイハイ競争、変身コスチュームなどを行い、一生懸命前に進む姿勢や成長した姿に参加者たちは癒されながら楽しみました。参加者からは、「同年代の子を持つ人との交流の場になった」「子どもがこんなに頑張ると思っていなくて、成長を感じられて嬉しかった」などの声が聞こえました。

函南町民・三島市民と知事が意見交換  
「知事広聴 平太さんと語ろう」

11月18日、三島市民文化会館で「知事広聴平太さんと語ろう」が開催されました。

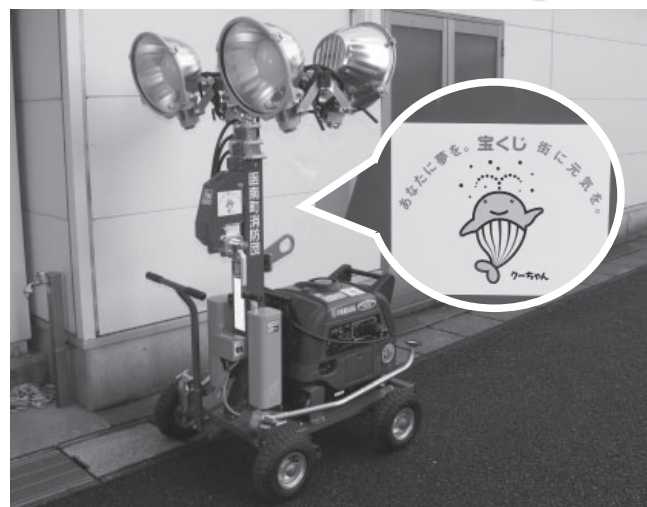
知事広聴とは、知事が地域に出向き県政に活かすため、地域の実情やさまざまな課題について地域で活躍されている人々と直接意見交換を行うものです。

今回は函南町と三島市から2人ずつ4人が参加し、町からは、函南めぐり野菜アンバサダーの神尾かほりさんと函南町消防団第1分団分団長の岩田徹也さんが参加し、知事と意見交換をしました。



▲知事広聴参加者と来賓の皆さん（前列左から1番目：岩田徹也さん、前列左から2番目：神尾かほりさん）

宝くじ助成金で町を活性化  
発電機付投光器購入



▲整備した発電機付投光器

このほど、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業による宝くじの助成金で、発電機付投光器を整備しました。

同事業は、宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源とし、消防団の装備の拡充や消防団活動への地域住民から積極的な協力を得ることを目的としています。

この発電機付投光器は、消防団員の夜間の火災活動、災害活動および平常時の訓練などで視界を確保し安全性の向上に活用します。

他市町消防団との連携を確認  
林野火災合同警防訓練



▲消防団と消防署員が連携協力して遠距離送水・放水を実施しました

10月25日、田代地区火雷神社付近で「2市1町消防団および駿東伊豆消防本部第二方面林野火災合同警防訓練」が行われ、函南町、伊豆の国市、伊豆市の消防団と駿東伊豆消防本部第二方面の消防署員約110人が参加しました。

訓練は相互の協力体制の強化を図るとともに技術の向上、地域住民への防災に対する啓発などを目的に行われ、林野火災に伴い、函南町から伊豆の国市、伊豆市に応援を要請し、6台の消防車で約700mを中継放水しました。

ごみの削減を目指して  
フリーマーケット

11月1日、函南町役場で「フリーマーケット」が行われ、33区画の店舗が出店し、約450人が来場しました。

同イベントは家で眠っている不用品の再利用とごみの減量を目的に行われ、会場には衣類や雑貨、おもちゃなどが並びました。

また、「Let's try ごみ減量」と題し、町のごみの現状を伝えるとともにリサイクルや雑がみの分別、食品ロス対策、コンポストなどの展示も行われ、地球温暖化防止にむけてのごみの削減を来場者に啓発しました。



▲多くの人が訪れ買い物を楽しみました

熱海・函南の特産品が並び  
わくわく日曜朝市



▲買い物を楽しむ来場者

11月1日、仏の里美術館で「わくわく日曜朝市」が行われ、約300人が来場しました。

会場では、野菜や干物などの海産物、お菓子、加工品、伊豆の名産など熱海市と函南町のさまざまなお店が出店し、買い物を楽しむ人でにぎわいました。

また、当日は文化の日にちなみ、仏の里美術館の仏像展示室の無料開放も行われました。